

授業科目名(英文名)bbb / Course title	大学院生のためのキャリア形成 / Career Development for Graduate Students				
担当教員(所属) / Instructor	中村 和之(経済学部経済学科), 尾山 真(地域連携推進機構)				
授業科目区分 / Category	大学院共通科目				
地域課題解決型人材育成プログラム科目 / COC+Course	-	授業種別 / Type of class	講義科目		
開講学期曜限 / Period	2022年度 / Academic Year 第1ターム / Term 1 他	対象所属 / Eligible Faculty			
時間割コード / Registration Code	950070	対象学年 / Eligible grade	1年 ,2年	単位数 / Credits	1単位
ナンバリングコード / Numbering Code	2X1-90035-0100				
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	尾山 真(地域連携戦略室(五福キャンパス, AZAMI(カフェ)2階) 電話番号: 076-445-6177 電子メール: serecos@ctg.u-toyama.ac.jp)				
オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours	尾山 真(地域連携戦略室は3名の教員がいますので、いずれかが在席するようになっていますが、不在の場合がありますので、事前にMoodleかTELもしくはメールで連絡の上で訪問してください。)				
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code					
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor					
MoodleコースURL / Moodle course URL	<a href="https://lms.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2022_950070">https://lms.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2022_950070</a>				
各種教育プログラム1 / Various Educational programs1					
各種教育プログラム2 / Various Educational programs2					
各種教育プログラム3 / Various Educational programs3					
各種教育プログラム4 / Various Educational programs4					
各種教育プログラム5 / Various Educational programs5					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日				
この科目は、オンデマンド形式(各自で授業動画・資料等を閲覧し受講)で授業を実施します。					
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
受講生が、将来、職業人としての経験を重ねていくための道標を提供する。キャリア開発やキャリア形成は膨大な蓄積を伴う学問分野であるが、本講義では学術的な研究ではなく、大学院生が自らのキャリアを考えるためのツールと言う視点から、実践を交えつつキャリア形成を巡る理論を学ぶ。					
達成目標 / Course Goals					
組織、社会との関わりの中で、自らのキャリア形成に対する展望を自律的に得ることができる。					
組織のマネジメントで必要とされるキャリア開発の基本的な考え方を身に付けている。					
受講生自身が、自らのキャリアに対する考え方の成長を実感できる。					
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class schedule					

<p>【第1回】授業の概要説明，社会・経済の状況とキャリア形成 授業のあらましを解説するとともに，キャリア形成を考える上で知っておくべき社会・経済状況を概説する．</p> <p>【第2回】自分を知る - 自己分析入門 - 自己分析ツールを体験することによってキャリア形成への関心を育むとともに，自己分析は何をどのように分析しようとしているのか，その背景にある考え方や理論を学ぶ．</p> <p>【第3回】自己分析・評価とキャリア形成 - 自分のことは自分から学ぼう - 自己分析の特性分析から，職業環境とのマッチングによる，職業との関わり方を検討し，ゲストスピーカーの講義に対する受講観点を検討する．</p> <p>【第4回】先人から学ぶキャリア形成(1) 【第5回】先人から学ぶキャリア形成(2) 【第6回】先人から学ぶキャリア形成(3) 第4回から第6回は，大学院を修了して研究職や専門職として社会で活躍されている方をお招きして，受講生が今後のキャリア形成を考えるためのヒントをお話しいただく．スピーカー（学内非常勤講師もしくは学外ゲスト・スピーカー）から講義いただいたのち，講師陣による解説を行いリアリティを持ったキャリア形成の視点を獲得する．</p> <p>【第7回】キャリア形成の実践に向けて - これから何をすれば良い？ - 第4回～6回のスピーカーの経験は，キャリアの形成を考えるためのどのようなヒントを与えているのだろうか．スピーカーのお話しを踏まえて，トランジション，計画された偶発性理論，キャリア・サバイバルといったキャリア形成を考えるための理論や概念のいくつかを解説する．</p> <p>【第8回】振り返りと課題発表 - みんなどうやって生きてきた？ - 期末レポートは，社会人へのインタビューを実施しレポートを作成する。ライフラインチャートの作成方法および，それをういたインタビュー方法について理解する。</p>
<p>授業時間外学修（事前・事後学修） / Independent Study Outside of Class</p> <p>事前学修：大学院修了後の進路に関してあり得る選択肢をいくつか考えてみて下さい。また，進路として具体的な企業・機関や職業，産業をイメージできる人は，それらの詳細を調べてみて下さい。</p> <p>事後学修：この講義を受講後，自らの進路をより具体的に考えてみたくなった人は，就職・キャリア支援センターを利用ください。</p>

<p>キーワード / Keywords</p>	<p>キャリア形成，キャリア開発，職業選択</p>
<p>履修上の注意 / Notices</p>	<p>講義のテーマを考えると1年次での履修が望ましい。</p>

<p>教科書 / Required Text</p>	
<p>参考書 / Required Materials</p>	

<p>教科書・参考書に関するその他通信欄</p>	<p>教科書はありません。スライドや資料を配布します。 参考文献は必要に応じて提示します。各回の講義に関する主要な参考書は以下の通りです。より深く学びたい人は参考にしてください。</p> <p>【第1回】：厚生労働省『労働白書』，</p> <p>【第2回】【第3回】：ジョン・L.ホランド(2013)『ホルランドの職業選択理論 パーソナリティと働く環境』（渡辺三枝子・松本純平・道谷里英訳）雇用問題研究会。</p> <p>【第4回】～【第6回】：特にありません（事前もしくは事後にスピーカーが指定する参考書等を読んでもらうことがあります）</p> <p>【第7回】 ウィリアム・ブリッジズ(2014)『トランジション 人生の転機を活かすために』（倉光修・小林哲郎訳）パンローリング。 エドガー・H. シャイン(2003)『キャリア・サバイバル 職務と役割の戦略的プランニング』（金井壽宏訳）白桃書房。 J.D. クランボルツ，A.S. レヴィン（2005）『その幸運は偶然ではないんです！』（花田光世・大木紀子・宮地夕紀子訳），ダイヤモンド</p> <p>【第8回】：特にありません。</p>
--------------------------	--

成績評価の方法 / Evaluation	講義中に <sup>1</sup> 出題する課題（30%）、授業への参加意欲（10%）、期末レポート（60%）で評価します。 達成目標に示す内容を基準として、評価します。
関連科目 / Related course	研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用
リンク先URL / URL of syllabus or other information	
備考 / Notes	